

うつぎの花

星 沼 会 報

第69号

2025. 1. 14

星沼温泉管理組合

鳴子温泉星沼 152-1

☎0229-87-2308

24時間給湯、7年目に突入！

～年末、年始のお風呂はいかがでしたか？～

年末年始のお湯の状況はいかがだったでしょうか？7年目を迎え、未だ24時間給湯を継続しており、うれしい限りです。

昨年、桜は日本人の心のふるさととして「ウツギの郷・桜公園」を株主皆さんのボランティア活動によって開設することが出来ました。他にも「民泊希望者の内覧会と説明会」、「私有地利用の家庭菜園希望者」を募ったり、星沼88番地と114番地、109番地の土地取得、大崎市との道路補修の話し合い等結構忙しい前年でした。

今年は60年に一度の「乙巳(きのと・み)」にあたる年です。

「乙」は植物が芽を出してのびる様子を表し、「巳」は成長のピークを表すと言われ、これらが組み合わさる2025年

は新たな成長と飛躍の年と考えられるそうです。へびは金運上昇の象徴とされ注目の年ですが、人によっては好き嫌いがあります。身近な救急車やWHO(世界保健機構)の紋章にも一本の杖に巻き付いたへびの図案が使われています。この杖に巻き付いたへびが世界共通で医療に係る紋章として利用されていることが分かります。ギリシャ神話の医神アスクレピアスの神具で友人であるへびが今日の医療を見守っているということになります。

アメリカの次期大統領のトランプ氏はこのWHOからの脱退を明言しています。WHOへの資金拠出国は133億円以上でアメリカが第1位、中国が2位、3位に日本がいます。医神アスクレピアスの神具は世界の医療の代表として人々を守り切ることが出来るでしょうか。





新春の新聞に「源泉停止か危機感沸

騰！」との表題に、ビックリして目が釘づけになりました。「福島県の飯坂温泉の温泉供給元が財政逼迫し2029年度に運営停止の可能性がある。供給元は特別地方公共団体・飯坂町財産区という地区住民で作り、飯坂市が事務局を担い、8つの共同浴場を含む72事業者に温泉を届けている。近年収入減と設備の老朽化

で修繕経費がかさみ赤字が目立ってきて29年度に運営資金がゼロとなることが判明した」とありました。利用者数の減少、源泉くみ上げ送湯管、ポンプの耐用年数超え等で故障が相次ぎ更新費用は2億5000万円だそうです。身につまされる内容もあり、考えさせられました。

「鳴子温泉・星沼の里山を守る会」の会員を募集しています。

星沼104番地(0.3ha)の社有地を3年かけて国の林野庁、宮城県林業振興課、大崎市農村環境整備課が後押しする、「みんなの森林づくりプロジェクト推進事業」の援助を受けながら、R7年度4月からR9年度までの3年間、星沼別荘地内(星沼88番地)の里山づくりに参加していきます。

星沼温泉管理事務所内に「鳴子温泉・星沼の里山を守る会」を設立しました。別荘地内の人々がふみこめないような放置林や笹藪で鬱蒼とした土地(里山)を、刈払いや間伐等を行い、林内遊歩道等も作り、山菜摘みやドングリ拾い、栗拾い、小鳥の鳴き声を聞きながら誰もが気軽に散策できるような、自然環境の保護を視野に入れた、私たちの手で作りあげる里山を守る会を立ち上げました。まだまだ詳細の準備段階ではありますが、共に活動して里山が再生していく姿を一緒に作りあげてみてみませんか？ 興味、関心のある方は星沼温泉管理事務所にご連絡下さい。

先日私事でありますが、中学校の同級会を昨年10月に行いました。中学校は36年前に統合され廃校となり今はありません。恩師のほとんどは他界し、このところ恩師無しでの同級会を続けています。関東からも泊まりがけで同級会に参加してくる同級生に、頭の下がる思いです。

当時一クラス40名以上2クラスでギュウギュウ詰めでしたね。中三時の修学旅行でどこを見たか記憶がはっきりしませんが、家の米を3合持たされ旅館に拠出し、出てきたご飯が別のものでおいしくなかったこと、枕投げの他に国際劇場で聞いた故伊沢八郎さんの「あゝ上野駅」は今でも思い出として離れません。東北の玄関口だった上野駅18番ホーム、今もJR上野駅に歌碑が残されています。

「どこかに故郷の香りを乗せて、入る列車のなつかしさ、上野はおいらの心の駅だ・・・」
「集団就職列車」で金の卵として就職した次男坊、三男坊で、ふるさとは戻ってこれなかった連中です。「集団就職列車」は24年間続き1975年に廃止されました。